



2012 環境報告書

Environmental Report 2012



兵神裝備株式会社

目次

第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
環境目的・目標と実績	4
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

夏期、冬期の節電対策	7
社員の安全を確保する常備品の配布	7
日経ニューオフィス賞受賞	8
レアアース回収にモノポンプが活躍	8

第4章 地域社会とのコミュニケーション

京都大学博物館にモノポンプの原理モデルを寄贈	9
高月町小学校の6年生が滋賀事業所を見学	9
中学生の職場体験学習	10

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

環境パフォーマンス実績表(本社)	11
環境パフォーマンス実績表(営業部)	11
環境パフォーマンス実績表(滋賀事業所)	12
環境保全活動のあゆみ	13

アンケート

編集方針・報告書の範囲

編集方針	「環境報告書2012」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。
対象期間	2011年度(2011年1月1日～2011年12月31日)
対象範囲	この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。 ■兵神装備株式会社 本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、名古屋営業所、福岡営業所 ■ヘイシンテクノバルク株式会社 本社、滋賀事業所
発行部署	兵神装備株式会社 全社環境事務局 〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54 TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504
発行日	2012年11月26日(次回発行予定:2013年6月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

2011年は、永く記憶に残る一年になりました。東日本を襲った巨大地震と津波、そして原発事故は、現地に甚大な被害をもたらしました。浄水場、下水処理場をはじめ多くのインフラが被災しました。復旧には数年を要すると言われていました。

当社は3月に緊急プロジェクトを立ち上げ、被災したお客様に対し、モーターポンプの修理や新品の供給、代行品の貸し出しなどを行いました。また救援物資の送付や、あしなが育英会、中央共同募金会などへの寄付も随時行ってきました。当面は厳しい状況が続くと思いますが、復旧の一助となるようこれからも支援を続けていく所存です。

原子力発電所の稼働停止により、東京電力・関西電力の管内に所在する電力利用者に夏期と冬期それぞれ3ヶ月間、電力削減が要請されました。当社は、工場においてはピークシフト生産、事務所においては冷暖房の調整やLEDタスクライトの導入、断熱塗装や窓の2重サッシ化などにより、この要請に対応しました。

また、社員の安全を確保するため、震災に伴う交通マヒや停電といった事態を想定し、非常食、懐中電灯、防寒用シートなどを含む災害時緊急用品を全社員に配付しました。

こうした中、食品製造の安全度を高め洗浄性や製品寿命を向上させた「ハイジェニックシリーズ」と、二次電池の製造工程で威力を発揮する耐摩耗性の高いアルミナセラミック製ローターを開発し、販売を開始しました。これらの製品により、安定したエネルギー供給や安心・安全な社会作りに貢献していきたいと考えています。

また地元の小学生を工場に招いての見学授業や、中学生の職場体験学習など、地域社会との絆を深める動きも引き続き推進しました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献の取組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

環境方針

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるヘイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。

① 廃棄物の削減及び適正処理

廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。

② 排水の適正処理

化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。

③ 資源・エネルギーの効率利用

資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。

④ 環境にやさしい製品の設計・開発

有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。

⑤ 環境製品の販売促進活動

省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。

2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。

3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るように努めます。

4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。

5. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

兵神装備株式会社
ヘイシンテクノバルク株式会社

代表取締役社長 小野 純夫

環境への影響

当社は、

- 「モノポンプ」専門メーカーとして、その研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素排出、廃液、廃プラ、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。

INPUT

エネルギー

・ 電力	2,087,847 (kWh)
・ ガス(プロパン等)	7,317 (m ³)
・ ガソリン	75,011 (L)
・ 軽油	296 (L)
・ 灯油	10,839 (L)

化学物質

・ 塗料/接着剤	8,613 (kg)
・ 溶剤(シンナー等)	2,752 (kg)
・ 油類(切削油・潤滑油等)	7,602 (L)

材料

・ 段ボール	14,656 (kg)
・ プラスチック	3,423 (kg)
・ ウエス	886 (kg)
・ 金属(素材・加工)	1,108 (t)
・ ゴム	43 (t)
・ 紙(コピー等)	7,473 (kg)
・ 木材	1,102 (kg)
・ ガラス(電球等)	44 (kg)
・ 乾電池	15 (kg)

用水

・ 上水	1,355 (m ³)
・ 地下水	10,002 (m ³)

研究開発
設計

製造

オフィス
営業

OUTPUT

廃棄物

・ 再生リサイクル用紙	9,635 (kg)
・ 一般ゴミ類	7,088 (kg)
・ 段ボール	7,666 (kg)
・ 廃プラスチック	3,662 (kg)
・ サーマルリサイクル廃棄物 (紙、ゴムを含む)	10,809 (kg)
・ 廃木材	1,699 (kg)
・ リサイクルウエス	990 (kg)
・ 廃ウエス(特別産業廃棄物)	3,124 (kg)
・ 廃油	1,240 (kg)
・ 廃液 (汚泥、廃酸、廃アルカリを含む)	12,757 (L)
・ 廃塗料/接着剤	4,180 (kg)
・ 廃溶剤	0 (L)
・ 廃ガラス(電球など)	99 (kg)
・ 廃乾電池	25 (kg)
・ 廃ステーター (フッ素系含む)	17,515 (kg)
・ 廃金属 (100%リサイクル)	129 (t)

大気への排出

・ CO ₂ ※	868(t)
---------------------	--------

公共用水域への排出

・ 排水	8,407 (t)
------	-----------

お客様

- ・ 納品

※CO₂排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

目的・目標と実績

2011年度行動目的	2011年度目標 (対前年実績度比)	2011年度実績 (対目標比)	評価	2012年度目標 (対2010年度実績比)
無駄な消費電力の削減	2,124,774 kWh (2%削減)	2,087,847 kWh (1.7%削減)	○	2,081,411 kWh (4%削減)

評価 ○:目標(100%)達成 △:達成率70%以上 ×:達成率70%未満
(2011年度目標を100として)

2011年度は、電力会社からの節電要請に対応した結果、目標以上の消費電力削減を達成できました。

今後も引き続き節電、省エネ化を進めてまいります。

プラスの環境目的・目標と実績

今年も昨年に引き続き、省エネルギー・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

◆ハイジェニックシリーズ「NHL型」

食品製造業界向けの新製品、ハイジェニックシリーズ「NHL型」を発売しました。この製品は、ポンプ内部の部品が金属接触しない構造となっているため、移送液への異物混入を防ぐことができ、安心してご使用いただくことができます。また、モーターの力を伝えるドライブシャフト部も磨耗の少ない構造を採用しており、長寿命化も実現しています。さらに接液部の部品点数を大幅に削減したことで、これまで以上に分解しやすく、洗浄も簡単に行えるようになりました。



◆新材質「アルミナセラミックローター」



新たな素材「アルミナセラミック」を用いたローターを開発しました。原料であるアルミナは、従来当社で採用していたセラミック材料に近い高硬度と耐摩耗・耐蝕性をもちながら、靱性(材料の粘り強さ)が高く、割れにくい特長があります。また、電気絶縁性を持つため、電子材料などの移送液にも対応できます。これらの特性を活かして、特に二次電池業界でお役立ていただけるよう、この製品の活用をアピールしてまいります。



監査結果

内部監査

廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。
今年度は不適合事項は無く、環境マネジメントが適正に運用されていることを確認しました。



外部監査

ISO14001の第2回サーベイランス監査が7月25日～29日の5日間、本社、大阪支店、東京支店、滋賀事業所で行われ、いずれの拠点においても不適合事項は無く、電力会社からの節電要請に対する取り組みが評価されました。



夏期、冬期の節電対策

原子力発電所の稼働停止により、東京電力・関西電力の管内に所在する電力利用者に夏期と冬期それぞれ3ヶ月間、電力削減が要請されました。当社では、各事業拠点で様々な節電を工夫し実施しました。

【夏期】

東京電力・関西電力の管内に所在する電力利用者に夏期3ヶ月間、2010年の使用最大電力(ピーク値)から15%の電力削減が要請されました。これに対応するため、関東の各営業拠点、大阪支店、滋賀事業所、および本社において、

- ・エアコン設定温度を28℃に上げる
 - ・外光を活用し、蛍光灯を間引く
 - ・扉に遮熱塗装、窓に遮熱ロールスクリーンを設置し、LED省エネ型デスクライトを導入する
- など拠点独自の施策を実行し、この要請に応えました。



LED省エネ型デスクライト

【冬期】

夏期に続き、冬期も再び関西電力からの節電要請(2010年ピーク値より10%削減)を受け、管内にある本社、大阪支店、滋賀事業所がこれに取り組みました。特に滋賀事業所では、近年の大型生産設備導入や本館のオール電化により、電力使用が増えており、また2、3月は製造の繁忙期に当たるため電力消費はさらに大きくなります。そこで社会的な使命を果たしつつも、生産活動への影響が生じないよう努力を重ねました。

主な節電対策としては、照明灯を低消費電力のLED灯・無電極灯への交換、執務室では空調温度の設定変更を行いました。加えて電力使用の多い時間帯(9時~15時)を避けるため、成形加工工場ではゴム押出機のヒーターをタイマー設定により早朝に通電、機械加工工場では大型加工機を夜間に運転等、稼働時間をずらす工夫をしました。繁忙期にはローターの焼入れ加工作業が増えましたが、これもピーク時間帯を外して作業を行いました。他には厨房での炊飯時間の分散、ノー残業デーの設定、石油ストーブの導入も行いました。

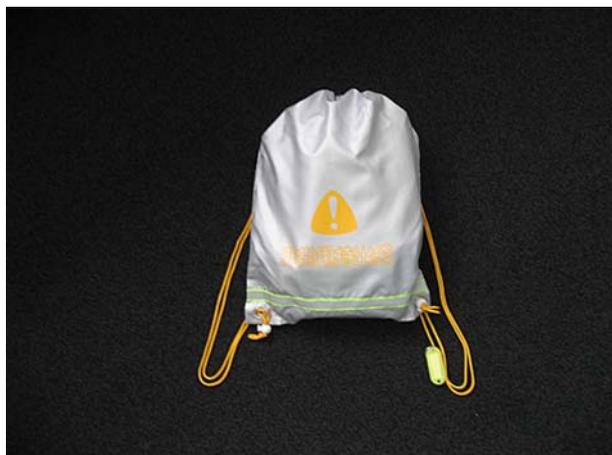
それら全体の電力消費をデマンド監視装置を使って30分ごとに使用電力を予測・演算しながら、必要に応じて警報を出し電力の負荷制御を行いました。

社員の安全を確保する常備品の配布

震災に伴う交通マヒや停電といった事態を想定した、災害時緊急用品を全社員に配付しました。

社員の安全を第一に考え、災害時には、①無理をして帰宅せず社内に留まる ②帰宅する場合は怪我を防ぐーことを基本としています。

緊急用品は、個人管理用と拠点管理用の2種類です。個人管理用の方は、水やパンなどの非常食、ヘルメット代わりにセーフティハットや懐中電灯、さらに手回し充電式の高機能ラジオや防寒用のサバイバルシートを用意し、これらをナップサック型持ち出し袋に詰め込み、すぐに持ち出せるよう各社員の机の下に設置しました。また拠点管理用の方は、救急セットや高性能ラジオ、室内に閉じこめられた場合に使用するハンマーやバールなどを揃え、館内の適切な場所に常備しました。



配布された個人管理備品

日経ニューオフィス賞受賞

昨年リニューアルを実施した本社オフィスが、日経ニューオフィス賞(日本経済新聞社主催)の「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞しました。この賞は、環境負荷低減、快適性、知的創造性、地域貢献性など多角的な観点でオフィスを審査し、優秀なオフィスを選出するものです。今回の本社オフィスは、①5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動を経た全員参加型のリニューアルであること ②IP電話を導入し電話取次ぎをなくすなど業務に集中できる環境づくりへの取組み-が評価され、2006年の技術研究所に次ぐ2度目の受賞となりました。



本社4階オフィス

レアアース回収にモノポンプが活躍

ガラスの表面研磨剤に含まれる酸化セリウム(レアアース)の回収用途としてモノポンプが使用されています。このレアアースは、中国、ロシア、アメリカ等で産出されますが、産出量の9割を占める中国が輸出制限をかけるなど、供給が不透明となっていました。そこでこれまで廃棄していた研磨剤からレアアースを取り出すリサイクル装置が考案され、この装置に組み込むモノポンプNE型が各地の工場に計40台採用されました。モノポンプが資源の有効活用にも役立っています。



レアアース回収に採用された
2NE30PM

京都大学博物館にモノポンプの原理モデルを寄贈

モノポンプの動作原理を一般にも解りやすい形で伝えることを目的としたモデルを2機種製作し、7月27日に京都大学博物館に寄贈しました。

同博物館では、京都大学が長年にわたって収集してきた国宝や重要文化財など様々な学術標本を多数保管し、展示しています。その中には、約100年前にドイツで製作された、当社モノポンプと深いかかわりのある機構原理の模型も含まれています。

なおこれらの原理モデルは、2012年秋から同博物館で一般公開されています。



今回寄贈されたモデル2機種

高月町小学校の6年生が滋賀事業所を見学

高月町にある4小学校の6年生児童113名が、9月22日、29日、30日に分かれて当社の滋賀事業所を見学に訪れました。高月町の小学校では、年間カリキュラムに郷土を学ぶ時間を設定しており、地元企業である当社に来られました。

当日は兵神装備やモノポンプについてDVDなどで勉強した後、ものづくりの製造現場である工場内を見学しました。機械加工工場では、高所から見える様々な機械に興味深く見入っていました。



機械に見入る小学生たち

中学生の職場体験学習

滋賀事業所では毎年、地元中学校の「職場体験学習」を受け入れています。今年は高月中学校から7月に2名、木ノ本中学校から11月に1名を迎え、作業実習を行いました。作業内容は、部品倉庫での入出庫や発送部品の箱詰め作業、受入部品の検査段取りの手伝いなどです。

体験した生徒からは、「難しい作業も親切に教えていただき、出来上がった時はうれしかった」などの感想が寄せられました。



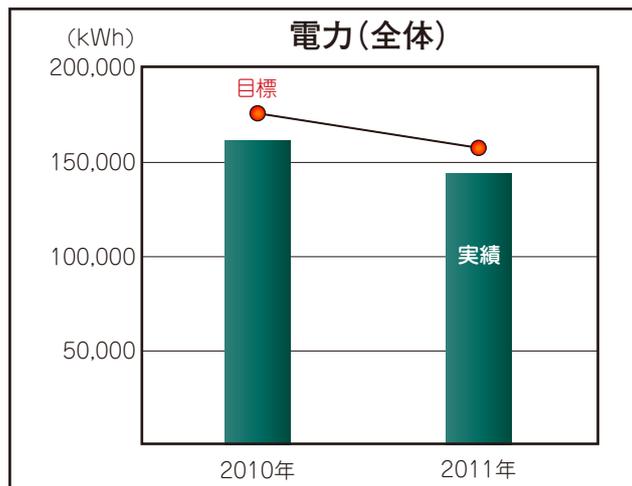
ローターに保護ネットをかぶせる中学生

本社

環境側面	2010年		2011年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	174,034	166,172	162,849	144,500
電力(kWh)(テスト場使用量除外)	174,000	165,500	162,190	145,367

2011年度の環境目標は、2010年度の年間購入電力量(165,500kWh)の-2%でしたが、その後、関西電力から夏期と冬期に節電要請がありました。

これに対応すべく、エアコンの設定温度調整、天井灯の減灯、自動販売機の省エネ型への変更、テスト場電気給湯器の電源オフ、本館エントランスや応接室のエアコン常時オンの停止、プロジェクターをエコモードで使用するなどの対策を実施した結果、購入電力量は2010年度比で-12%を達成しました。

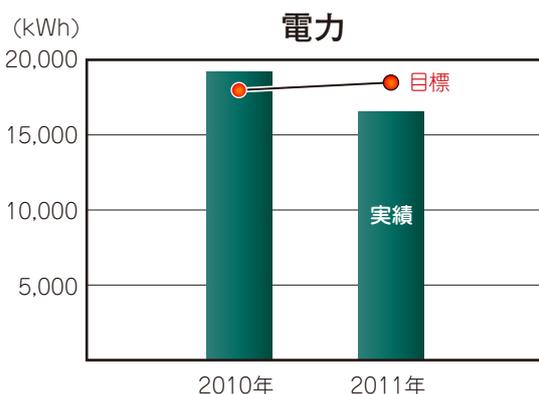


営業部

環境側面	2010年		2011年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	183,394	193,466	189,596	167,371
コピー用紙(kg)	2,488.3	2,371.0	2,324.0	2,099.8

電力消費量・コピー用紙使用量とも2011年は目標値を10%以上下回り達成となりました。特に電力値に関しましては東日本大震災以降、節約による削減及び機器の省電力に取り組んでいます。

今後もこの活動を推進し必要最小限の使用量を目指します。



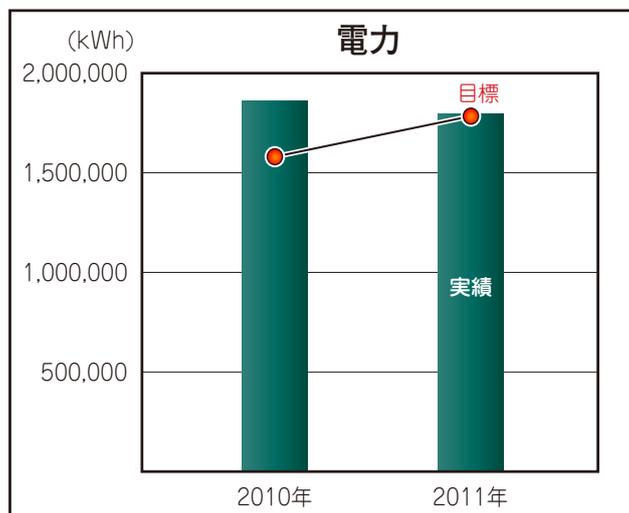
滋賀事業所

環境側面	2010年		2011年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,595,345	1,809,171	1,765,991	1,776,015

エネルギー消費量、廃棄物量共に2010年より2011年は減少しました。

生産金額の増加、設備の増加、厨房のオール電気化もあり、電力消費量は増加を予想していましたが、関西電力からの節電要請により空調温度の見直しも含めて、可能な限り節電に努めたことが要因と考えられます。

節電の取り組みについては、7月の全体朝会にて工場長から滋賀事業所の夏期取り組み指針が発表され、各サイト、部門で企画し取り組みました。



環境保全活動のあゆみ

兵神装備の活動

<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定 	1998
<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場ISO14001認定取得 	1999
<ul style="list-style-type: none"> • 環境報告書2001発行 	2000
<ul style="list-style-type: none"> • 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定、全社環境綱領の制定 	2001
<ul style="list-style-type: none"> • 拡張監査・滋賀工場更新審査 • 全社ISO14001認定取得 	2002
<ul style="list-style-type: none"> • 化学物質管理委員会発足 • グリーン調達推進委員会発足、説明会開催 • 化学物質管理規定発行 • 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設 	2003
<ul style="list-style-type: none"> • アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言 • ノンタルエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応 • 環境報奨規定を制定 • 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル 	2004
<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場・技術研究所で太陽光発電システムを稼働 • 神戸本社で太陽光発電システムを導入 • 製品/ヘイシンロボディスプレイシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ 	2005
<ul style="list-style-type: none"> • 環境材料分科会を滋賀工場で開催（滋賀県東北部工業技術センター主催） • サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル • 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノヘルクテクニカルセンターを開設 • 本社の外構を環境に配慮してリニューアル • 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売 	2006
<ul style="list-style-type: none"> • 環境材料分科会を滋賀工場で開催（滋賀県東北部工業技術センター主催） • サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル • 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノヘルクテクニカルセンターを開設 • 本社の外構を環境に配慮してリニューアル • 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売 	2007

世の中の動き

<ul style="list-style-type: none"> • 地球温暖化対策推進法制定 	1998
<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定 	1999
<ul style="list-style-type: none"> • 環境型社会形成推進基本法制定 • グリーン購入法制定 • 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定 • 資源有効利用促進法制定 	2000
<ul style="list-style-type: none"> • 環境省発足 • 家電リサイクル法施行 	2001
<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法完全施行 • 土壌汚染対策法制定 • エネルギー政策基本法制定 • 地球温暖化対策推進法改正 	2002
<ul style="list-style-type: none"> • WEEE (EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効 • RoHS (EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効 • 首都圏ディーゼル車規制施行 • 環境教育推進法施行 	2003
<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動枠組条約第10回締結国会議 (COP10 アルゼンチン) • 国際環境規格ISO14001-2004年版発行 • 大気汚染防止法改正 	2004
<ul style="list-style-type: none"> • 自動車リサイクル法完全施行 • 京都議定書発効 • 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催 • COP11 カナダ・モントリオールで開催 	2005
<ul style="list-style-type: none"> • COP12 ケニア・ナイロビで開催 • RoHS指令開始 (EU) • REACH採択 (EU) 	2006
<ul style="list-style-type: none"> • G8ハイリゲンダムサミット開催 (ドイツ) • COP13 インドネシア・バリで開催 • バリロードマップ採択 • 食品リサイクル法改正 • フロン回収破壊法改正 	2007

兵神装備の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいヘインドラムポンプシステムのパールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ヘインモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンクライアント機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ヘインマイクロディスプレイ」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックシリーズ「NHL型」、二次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックローター」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

世の中の動き

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
- 全国型エコ・アクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- 新型インフルエンザが流行
 - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
 - 太陽光発電の買取制度、始動
 - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
 - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
 - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
 - 7月の世界の海水温が過去最高を記録

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋会議の開催
 - 国内高速道路の一部無料化社会実験が開始
 - 国内緊急経済対策として住宅エコポイントが3月から申請受付が開始
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然エネルギーへの転換加速
 - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
 - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き
 - タイで大規模な洪水が発生、多くの工場で操業停止
 - 世界人口が70億人突破

Q1:この環境報告書をお読みになってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みになって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みになっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: